

アスベスト（石綿）にご注意ください！

富山県生活環境文化部環境保全課

能登半島地震により県内でも多くの建築物が被災し、順次片付け等が進められているところですが、一般家屋にもアスベスト（石綿）を含む建材が使用されていることがあることから、住民や災害ボランティアの方々が家屋等の片付けをする際にアスベストにばく露されることが懸念されます。

アスベストは、ばく露後 15～40 年程度経過後に肺がんや中皮腫等を発症する場合がありますことから、裏面の記載内容にご留意のうえ、アスベストにばく露しないようご注意ください。（ご不明な点は下記までお問い合わせください）

【戸建て住宅におけるアスベスト使用建材の使用部位例】



吹付けロックウール



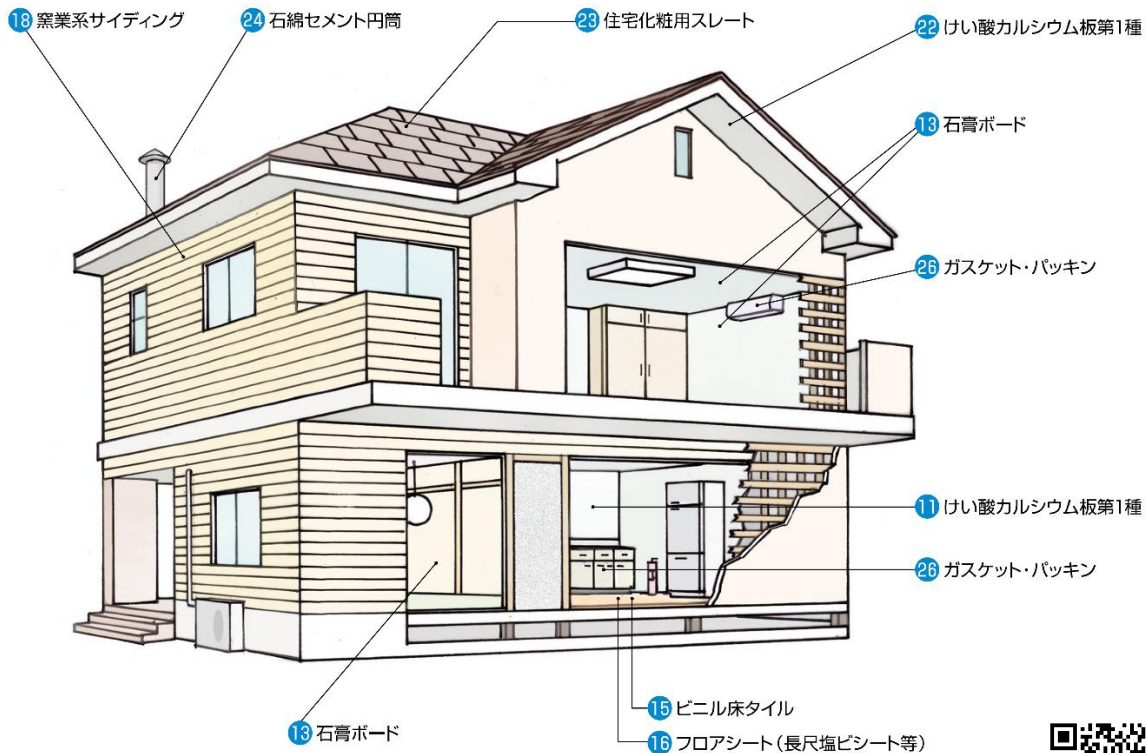
石膏ボード



窯業系サイディング



住宅化粧用スレート



出展：「目で見るアスベスト建材（第2版）」（国土交通省）

https://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/01/010425_3/01.pdf



《裏面もご確認ください》

【お問い合わせ先】

富山県生活環境文化部環境保全課大気保全係
電話 076-444-3145

倒壊・損壊した建物の周囲で作業を行う場合の アスベストばく露防止について

倒壊・損壊した建物の周囲での作業が必要なときは、アスベストにばく露しないよう、次の事項にご留意のうえ作業してください。

【ばく露防止のための対策方法】

- 1 防じんマスクを着用。
- 2 成形板（スレート等の建材）を片付け、処分する際には、散水等により湿潤化。
- 3 ハンマーでの破碎やカッターでの切断など、粉じんを発生させる作業を行わない。
- 4 むやみに倒壊・損壊建物や解体現場に近づかない。

【防じんマスクについて】

粒子除去効率が、95%以上の国等の規格に適合した防じんマスクを使用してください。装着方法等は以下を参照してください。

※ マスクに加えて、保護具又は作業着も着用するようお願いします。

使い終わった防じんマスクやフィルターは密閉できる袋に入れてすぐに廃棄してください。

粉じんのばく露を防ぐために

正しく防じんマスクを装着しましょう

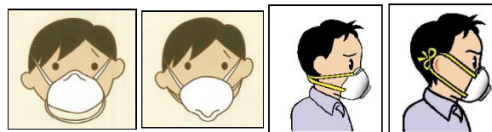
適切な性能を有する防じんマスクを使いましょう

以下のいずれか一つ以上の合格・認定を受けた防じんマスクを使いましょう。

- ・ 厚生労働大臣の型式検定
例：DS2マスク 等
- ・ NIOSH規格
例：N95マスク 等
- ・ 欧州規格（EN149）
例：FFP2マスク 等

間違った防じんマスクのつけ方に注意しましょう

（使い捨て式防じんマスクについて「悪い例」の紹介）



しめひもが片側はずれている

マスクが上下逆さま

しめひもが首元で2本がけになっている

しめひもを加えて耳かけ式になっている

防じんマスクをつけた時の注意点について

しっかりと顔に密着させましょう

- マスクの変形・破損が無いことを確認した上で取扱説明書に従って装着を行う。
- しめひも調節が行えるものは、必ず適切な長さに調節する

顔に密着しているか確認しましょう

- 取扱説明書に従って使用のたびに必ず顔に密着しているか確認しましょう。
- もし、漏れ込みが感じられた場合は
 - ①マスクの位置を調節する
 - ②しめひもの長さを調節する 等を行って再度確認してください

※注意事項

- ・防じんマスクの規格は性能に応じた種類がありますので作業内容に応じた防じんマスクを選択して下さい。
- ・酸素濃度18%未満の作業環境では絶対に使用しないで下さい。
- ・使用中にマスクが損傷したり、呼吸が苦しくなったり等の場合には速やかに安全な場所に移動してください

資料出典：(社)日本保安用品協会
日本呼吸用保護具工業会
スリーエムヘルスケア(株)

出展：「マスクのつけ方について (Ver. 2)」(環境省)

https://www.env.go.jp/jishin/attach/asbestos_mask-set_v2.pdf

